

岩手県社会福祉協議会地域福祉企画部 ボランティア・市民活動センターのHPより

プラットフォームとは……

最近、ネットワークに関連していろいろな分野で「プラットフォーム」という言葉が使われるようになりました。「ネットワーク」はお互いが「網状の組織」のようにつながったものであるのに対し、「プラットフォーム」はそのつながりを支える「基盤」「土台」「システム」を指すことが多いようです。

いま、新しい時代に即した、地域コミュニティを再生するためには、この「プラットフォーム」という考え方が必要だと言われてきています。それは、地域課題、生活課題が行政やボランティア・NPOの単体だけ、あるいはそれらが連携したネットワークだけでは解決が難しい面があり、さまざまな地域資源が一体化した「プラットフォーム」として解決にあたる必要があるからです。

「地域型PFサービス協働システム」モデル事業 プラットホーム型システム（イメージ図）

これからの時代は、地域の問題を住民と一緒に考え解決していくことであり、日常生活を支援していくために、地域においては、実施主体・年齢層・活動分野の枠を超えた多様なボランティアの交流や連携をすすめ、その特性を活かし主体的に参画していくことが重要です。また、公的サービスでは対応できない場合、ボランティア活動と市民活動を一体的に考え「自助的活動」「小地域活動」「自治活動」などの地域活動や、ボランティア活動、有償活動、NPO活動も含めた幅広い協働が必要です。

この協働を具体化するため、市町村社会福祉協議会ボランティアセンターが中心となって、ボランティア個人・ボランティアグループ・団体や住民参加型在宅福祉サービス団体、NPO法人、企業、組合等がその枠を越えそれぞれが参画することにより、地域住民が気軽に多様な生活支援サービスを利用するための仕組み「地域協働プラットフォームシステム」をモデル事業として実施しています。

*（英）Platform：列車へ乗り降りするための台状の場所

